

NPO法人 ゆいネット北海道

会報 Vol.9

ご挨拶

2020年に引き続き、2021年もコロナ禍の対応に追われた1年でした。

リモートワークやオンライン授業などが続くと、配偶者間暴力や子に対する性虐待などの家庭内の問題が潜在化してしまい救済につながりにくいのでは、という危惧がありました。また、性被害というただでさえ相談しにくい内容を、リアルで会う機会の少ない友人や教師に打ち明けるといことは、ますますハードルが高くなるのではないかと心配されました。そのような中、性暴力被害者支援センター北海道SACRACH（さくらこ）は、2021年の1年間、相談窓口を止めることなく、面談相談も含めて、従前どおり続けることができました。相談件数は、むしろ大幅に増えています。これは、被害件数が増えたということではなく、相談時間や相談方法を拡げた効果や、さくらこの存在が周知されたことにより、ようやく相談窓口を必要とされる方につながることができたのではないかと思います。



また、性暴力被害者診療支援看護職（SANET）養成講座につきましても、2020年度は残念ながら講座開催自体を断念しておりましたが、2021年度は初めてのオンラインで開催致しました。不慣れな運営で受講者の皆様にはご迷惑をおかけしたかもしれず、その点は誠に恐縮ではございますが、講座を再開し、活動の歩みを進められたことに心より安堵しております。

今年、当法人は設立十周年を迎えます。私が写真で持っているのは、当法人会報第1号（設立1周年記念号）です。

これまでの10年間、ご尽力、ご支援いただいた皆様に深く感謝申し上げますとともに今後も、北海道や札幌市、提携病院や協力病院、協力弁護士、児童相談所やシェルター等連携先の皆様とともに、性暴力被害者の支援に努めてまいりたいと思います。

2022年1月吉日 認定NPO法人ゆいネット北海道 理事長 須田布美子



ひとりで抱えこまないで。
あなたはなにも、悪くないんだよ。
話そう。
これからの人生のために。

Sexual -----> 性
Assault -----> 暴力
Crisis -----> 危機
Relief -----> 安心
Assist -----> 支援
Center --> センター
Hokkaido --> 北海道



女性スタッフがあなたの悩みを聞いてくれます

サーナヤマな オンナキョウキョウ

050-3786-0799

月～金 10:00～20:00 (土日祝祭日、12/29～1/3を除く)

性暴力被害者診療支援 看護職養成講座

SANET開催

開催日：2021年9月11・12日 10月30・31日 12月4・5日（全6日間）

今年度は、コロナ禍の中での対面講義を含めたハイブリッド形式での開催となりました。29名の参加者が画面を通して、グループワークに取り組むなど和気あいあいとした雰囲気の中での講義が多かったことが印象的でした。また、SANETはアドバンス助産師認定講座となっています。日本助産評価機構の認証によるアドバンス助産師選択研修に認定されました。



認定SAカウンセラー養成講座開催

開催日：2021年9月11・12日 10月30・31日
（全4日間）

今年度は中級講座（参加者9名）を開催しました。



JICAの取材を受けました！

12月4日演習：証拠採取の講義時JICAの取材を受けました。

プロジェクトの一環として、発展途上国であらゆる支援を行っている独立行政法人国際協力機構（JICA）が女性に対する暴力を根絶することを主目的としたプロジェクトを実施する上で、日本国内の取組好事例を映像にまとめ、一般市民も含め国内外のさまざまなステークホルダーを対象に、性暴力の課題や取組の重要性について啓発していくことを目的としています。15分程度の日本におけるSGBV取組紹介映像（ビデオ）をJICA職員やその他、国際協力分野の従事者への啓発目的として用い、YouTube等での配信を考えております。完成後は長期的に使用される予定です。



「性暴力被害者診療の実際」オンライン講演会の報告

2021年8月6日に産婦人科医対象に標記講演会を行ないました。今、#性暴力を許さない！という社会の風が強くなっています。女性の心と身体を診察する産婦人科医が素養として性暴力について理解し、診察・検査をおこなう事ができるようにと意識して話しました。

内容を簡単にまとめますと①性暴力とは？性犯罪とは？ ②2017年に改正された性犯罪刑法改正内容 ③性加害者は見知らぬ人より見知った人に多い ④全ての医療行為において被害者の気持ちを尊重する姿勢 ⑤性暴力による健康被害 ⑥性暴力被害者に対する医療機関・警察・支援センターの連携の仕方 ⑦診察室に被害者が訪れたらどうするか？ ⑧診察のポイントと記録、証拠採取方法 ⑨性感染症検査・妊娠検査・緊急避妊、また幼児と中学生の児童性虐待事例をプレゼンテーションしました。児童と言ってもその年齢は幅広く、診察の同意を得る事の困難があります。加害者が本人と一緒に暮らしている事が多いので判明してからの生活をどうするかで大変悩むこととなります。大事なことは決して1人で背負おうとしない事、チームで！という意識です。私たちSACRACHに連絡してもらうことで性暴力対応に精通した弁護士につなぐ事が可能です。また性暴力被害者の心を理解している心療内科・精神科も紹介できるなどのメリットがあることを紹介しました。

金曜日の夜7時からでしたが80名の参加だったことを協賛の富士製薬工業から聞きました。座長を務めていただいた須田理事長、スライド資料提供してくれた平山先生に感謝します。
(長島 香)

札幌市小児科医会研究会

2021年11月17日（水）19：00から札幌市医師会館において行われた札幌市小児科医会研究会で「性的虐待被害児の診療」というタイトルで講演する機会をいただきました。コロナウイルス感染者数の減少状況鑑みられ、久しぶりとなる対面での講演会でした。

性的虐待について札幌市の児童相談所認定数の現状や自験例やさくらこ相談症例の提示もしながら、具体的な診療の留意点や問題点を話し、最後に、支援センターとして機能するためには小児科医療施設との連携が必要であることを説明し協力をお願いし終了いたしました。
(平山恵美)

札幌市児童相談所における講義について

当法人理事長須田は、2021年10月21日、札幌市児童相談所において、「性暴力被害者支援センター北海道SACRACH（さくらこ）の活動の実際」というテーマで、研修講師を担当させていただきました。受講対象者は、虐待通告調査部門の職員、児童心理司、児童福祉司、一時保護所職員等です。さくらこの相談件数や、医師や弁護士につないだ場合の連携方法などをお話ししたところ、職員の皆様には大変関心をもっていただき、終了後も多くの質問をいただきました。誠に残念ながら、さくらこの相談には児童の性被害がとて多く、児童相談所との連携は必須と考えております。今後も連携していければ幸いです。
(須田布美子)

ゆいネット北海道の活動(2020年12月～2021年12月)

■2020年

- 12月13日 ジェンダー集会 講師派遣
- 12月18日 北海道大学法学部ゼミ 講師派遣

■2021年

- 1月23日 第41回さくらこ運営委員会
- 2月1日 札幌高等裁判官向け研究会 講師派遣
- 2月8日 北海道新聞国際女性デー勉強会 講師派遣
- 3月22日 紫明女子学院職員研修 講師派遣
- 3月6日 第42回さくらこ運営委員会
- 4月4日 症例検討会
- 4月10日 SNS研修会
- 5月15日 社員総会・
第43回さくらこ運営委員会
- 5月28日 事例検討会 (SV)
- 5月30日 男性被害者研修会
- 7月16日 事例検討会 (SV)
- 7月17日 第44回さくらこ運営委員会
- 8月6日 産婦人科医対象 性暴力被害者診療についてオンライン講演
- 9月11・12日 性暴力被害者診療支援看護職養成講座
- 10月21日 札幌市児童相談所研修 講師派遣
- 10月30・31日 性暴力被害者診療支援看護職養成講座
- 11月12日 事例検討会 (SV)
- 11月27日 第45回さくらこ運営委員会・理事会
- 12月4・5日 性暴力被害者診療支援看護職養成講座
- 12月18日 理事会

今後の予定

■2022年

- 1月22日 北海道女性医師の会講演会 共催
- 1月22日 第46回さくらこ運営委員会
- 2月20日 スキルアップ研修会
- 3月13日 スキルアップ研修会



性暴力被害夜間休日コールセンター開設

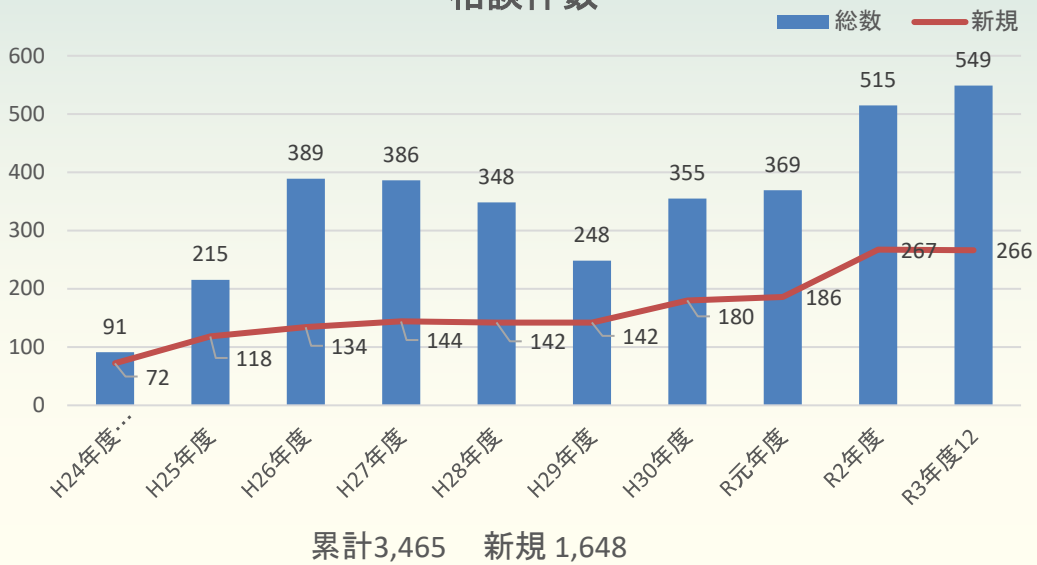
2021年11月1日より性暴力被害夜間休日コールセンターが開設しました。全国のワンストップセンターの中で24時間稼働していない時間外の相談電話を受け付けます。緊急ケースの場合は、各地のワンストップセンターに連絡が行き、その都度対応することになります。現在のところ、北海道地域の方から緊急ケースの相談があった場合、今年度はワンストップセンターで警察紹介か、緊急避妊薬を処方できる病院(厚労省掲載)を紹介するシステムになっています。来年度からは緊急ケースはさくらこのオンコールに電話が来て、平日の営業時間内の対応となります。

時間外電話番号 #8891☎

●SACRACH相談実績

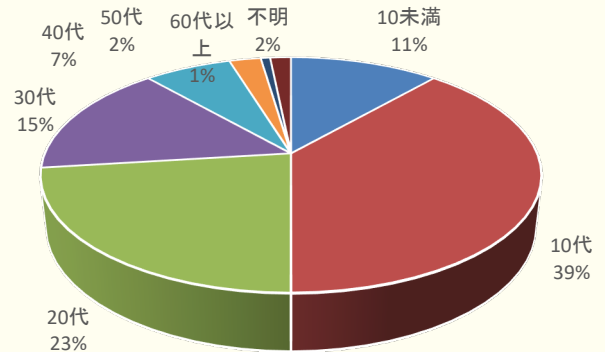
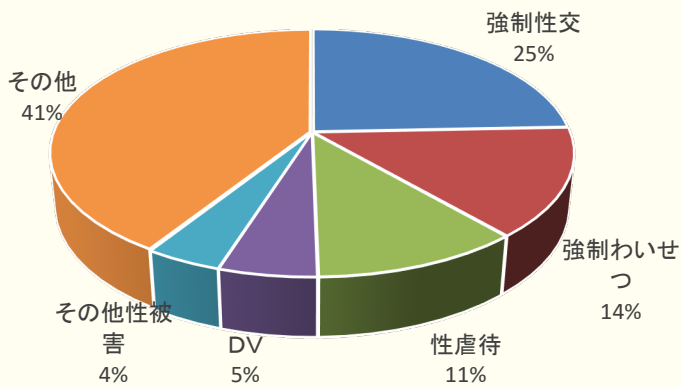
2012年10月1日～2021年12月31日

相談件数



<相談内容>

<被害時年代>



2年続きの新型コロナの影響で女性の失業者が増え自死の件数も多くなっています。そのような中、生活を支える為に性産業に関わり、性被害に遭う事例が多く見られました。また子どもたちの性被害はすぐには見つけにくい為、被害にあわないようにSNSリテラシー教育や性の安全教育など早急に実施していく必要があると思います。

【さくらこ提携病院・協力病院】

○提携病院			
	医療機関名	後志	医療法人社団新開レディースクリニック
	医療法人明日葉会 札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル	胆振	王子総合病院 医療法人緑風会石田内科胃腸科
		渡島	函館中央病院 秋山記念病院 市立函館病院
○協力病院			
地域	医療機関名		
空知	砂川市立病院		医療法人社団産科婦人科白鳥クリニック
石狩	NTT東日本札幌病院		湯の川女性クリニック 木古内町国民健康保険病院 八雲総合病院
	医療法人にしかわウイメンズヘルスクリニック		
	のだレディースクリニック	檜山	北海道立江差病院
	医療法人社団みぶな会ひなたクリニック	上川	医療法人社団健和会和田産婦人科医院
	医療法人社団ゆほな会はやしたくみ女性クリニック		医療法人社団弘和会森産科婦人科病院
	響きの杜クリニック		名寄市立総合病院
	たばた産婦人科クリニック		社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院
	医療法人社団モアナエムズレディースクリニック	宗谷	市立稚内病院 利尻島国保中央病院
	医療法人育愛会札幌東豊病院	オホーツク	やまかわウイメンズクリニック
	札幌白石産科婦人科病院		JA北海道厚生連 網走厚生病院 金川医院
	勤医協札幌病院	十勝	医療法人社団慶愛 慶愛病院
	医療法人徳洲会札幌徳洲会病院		社会福祉法人北海道社会事業協会帯広病院
	KKR札幌医療センター	釧路	くしろレディースクリニック 医療法人社団足立産婦人科クリニック
	医療法人社団豊生会伏古レディースクリニック	根室	市立根室病院 町立別海病院
	医療法人社団EVEウイメンズクリニック		
	医療法人社団青葉産婦人科クリニック		
	医療法人福住産科婦人科クリニック		
	医療法人社団いちご会美加レディースクリニック		
	医療法人礼風会五輪橋マタニティクリニック		
	医療法人社団ともこレディースクリニック		
	医療法人はだ産婦人科クリニック		
	医療法人育愛会愛産婦人科		
	医療法人社団手稲あけぼのレディースクリニック		
	江別市立病院		
	医療法人社団プリモウイメンズクリニック		
	市立千歳市民病院		
	マミーズクリニックちとせ		
	医療法人社団産婦人科・小児科クリニックリブ		
	みよしレディースクリニック		



提携病院・協力病院となつていただきました皆様には心から感謝申し上げます。

ご寄付・賛助会員登録のお願い

NPO 法人ゆいネット北海道は、2017年10月20日に認定NPO法人になりました。寄付金は税額控除の対象となります。

2012年10月1日に性暴力被害者支援センター北海道(SACRACH・さくらこ)を開設以来、性暴力被害者の方々にさまざまな支援をまいりました。さらに子どもたちを被害者にも加害者にならないための勉強会や講演会などの回数を増やしていきたいと考えております。これらの活動をより充実させるために皆様からのご寄付を必要としています。また、私たちの活動理念に賛同して賛助会員として入会していただける方も募集しておりますので、事務局まで お問い合わせください。皆様からの暖かいご支援をお待ちしております。

お振込先	ゆうちょ	02700-4-98598	ゆいネット北海道
	ゆうちょ銀行	二七九支店	当座 0098598 ゆいネット北海道
	北洋銀行	北七条支店	普通 3993540 トクヒ)ユイネットホッカイドウ

ご寄付・賛助会員としてご支援をいただいた皆様 (2020年12月1日～2021年12月31日)

伊古田明美 井田明美 小野寺るみ子 工藤正尊 黒川輝世 長島香 須田布美子
寺田陽子 平山恵美 廣川容子 宮崎みち子 大森洋見 佐々木紀子 黒澤義彦
今野豊 水江伸夫 篠田江里子 成田教子 薄木宏一 鈴木美紀 大浦麻絵
八代眞由美 須見よし乃 青木輝美 合田由紀子 小畠昌規 國田裕子

- ・札幌Ⅱゾンタクラブ ・国際ソロプチミスト札幌 ・泰伸データウェアハウス(株)
- ・須田布美子法律事務所 ・福住内科クリニック ・ふるや内科
- ・南平岸内科クリニック ・新開レディースクリニック ・響きの杜クリニック
- ・美加レディースクリニック ・ともこレディースクリニック ・朋友会札幌産婦人科
- ・とも耳鼻科クリニック ・はだ産婦人科クリニック ・六条医院
- ・旭川療育センター ・島津電設(株) ・北海道女性医師の会

(称略・順不同・お名前掲載不可の方は掲載しておりません)

《寄付者に対する税制優遇措置》

認定・仮認定NPO法人に寄付した場合、寄付金控除や損金算入などの税制優遇措置が受けられます。

■個人による寄付

個人による寄付金は、「所得控除」か「税額控除」のいずれか有利な方を選択できます。申告の際には最寄りの税務署にご相談のうえ、ご自身にとって有利な方を選択してください。

1) 所得控除

寄付金額の合計－¥2,000＝寄付金控除額

※寄付金控除額の合計額は所得金額の40%相当額が限度

2) 税額控除

寄付金額の合計－¥2,000×40%＝寄付金控除額

■法人による寄付

法人が認定(仮)NPO法人に対して支出した寄付金は、一般寄付金の損金算入額とは別に特別損金に算入限度額の範囲内が損金に算入されます。詳しくは最寄りの税務署にお尋ねください。

■控除を受けるための手続き

所轄税務署にて確定申告を行ってください。年末調整で申告することはできません。当法人が発行する「寄付金受領証明書」を添付して申告してください。

認定NPO 法人ゆいネット北海道

事務局：TEL 011-768-8600

FAX 011-788-5750

HP: <http://yuinet-hokkaido.com>

HP: <http://sacrach.jp>